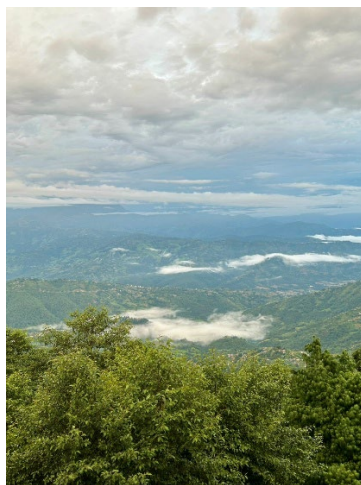


ナルガコット村は標高 2000m 以上ありヒマラヤ山脈の絶景を一望できます。私たちが行った時には霧があり、見る事が出来ませんでしたが、晴れた時には山々を綺麗に見ることができます。また、道中にお土産屋もあるので、そこで安くネパールの服など色々なものを買うことができます。そこで私が学んだことは、日本で暮らしていることがいかに幸せであるかです。ネパールでは、村の人々も町の中心部に住む人々も水などを山に汲みに行く人がまだいます。そのような厳しい環境でも笑顔を絶やさず心を開くネパールの人々に惹かれました。また、水や電気などインフラが整っている日本に生きていることに感謝の気持ちを持つことが大切だと考えます。



「民芸品店」



「ナルガコット村の景色」

バクタプルとパタンはネパールの古都です。カトマンズ盆地の先住民族ネワール族の人々が今も暮らしていて、私たちは彼らの文化や歴史を体験することができました。街中はバイクや車が行き交い賑やかで、ネワール建築の建物と寺院が多く見られます。この伝統的な建築様式では大抵は4階建てで、各階にキッチン、客間、寝室と用途が決まっています。また精巧な木彫り細工が特徴的で、窓枠などに使われています。ニャタポラ寺院は五重塔となっており、地震が多いネパールで耐震のための工夫が凝らされています。寺院ではヒンドゥー教と仏教が融合し浸透していることが分かり、日本文化の宗教に対する柔軟さや寛容さと通じるところがあるように感じました。ネワール人は今も伝統的な暮らしを続けていますが、それは彼らの強い共同体意識によるものだと分かりました。しかし若者の中には将来の可能性を広げるために海外で生活することを目標にしている者も多く、これからの変化に注目したいと思います。



「孔雀の木細工」



「五重塔」